



笹小だより

No. 9

平成30年1月9日
横浜市立笹野台小学校

変わらない大切なもの

校長 倉岡 ナオミ

2018年、とてもあたたかい、穏やかなスタートでした。青空に浮かぶ、冠雪の富士山を見ながら、何か少しは明るく良い年になりそうな気がして、とても清々しく自然と笑みがこぼれました。きっと子供たちも新しい年を迎えて、夢や希望に胸をふくらませていることでしょう。その思いの実現に向けて、私たち教職員一同、また、心新たに努力してまいりたいと思います。昨年同様、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年は戌年です。戌は安産であることから、新たに何かを産むという意味もとらえ、スタートとしても良い年であるとのことです。学校では、英語や道徳の教科化に向けての準備や、保護者の皆様にも御協力いただいた、学校教育目標の見直しにも取りかかります。保護者、地域の皆様と、どんな子供たちを育てていくのか、その思いを共有し、一緒に教育活動を進めていきたいと考えています。それをもとに、新しい学習指導要領の内容を押さえつつ、どこで、何を、どのように身に付けていくのかを具体化して、日々の教育活動に反映させていきます。正に、新しいスタートです。また、戌の干支は、勤勉で努力家とも言われています。今までもいろいろなところで話されていることではありますが、勤勉や努力こそが素晴らしい成果を生み出します。世に天才と言われた方々も持って生まれた資質だけで成功したのではなく、日々の粘り強い努力や勤勉さがあればこそ、その偉業は成し遂げられたとのこと、改めて、言い古されたことであっても、勤勉や努力など地道な一つ一つの積み重ねが大切であると思わされます。

AIの開発により、これからの世の中は大きく変わっていくことが予想されます。知識の量や記憶などでは人間はAIにはとても敵わないでしょう。では、人間としての強み、価値はどこにあるのでしょうか。先日、研修会に参加した折に、文科省の方がそれについて話をしてくださいました。それは、目的を設定したり、他者と協働したりするところだろうとのことです。AIは自分で目的を決めたり、他者と協力して何かを進めていこうとしたりすることはありません。私たちは得た理解の質を高め、それを相互に関連づけながら、さらに社会における様々な場面で活用できる知識として身に付けていくことが重要であると言います。そのために、他者と関わり対話しながら、学びを深めていくことが必要になってくるのでしょうか。やはり、他者との関わりを大切にし、共に活動していこう、成長していこうとする思い、相手を思いやり、より良いことを選び取っていこうとする心を大事にすることは、どんな世の中になったとしても大切であることは変わらないのだと考えています。今までの私たちが大切にしてきた教育のあり方を大事にしながら、新しい時代に向けての一步を進めていきたいと思いました。

3月までの登校日数は、6年生が51日、1年生から5年生が53日です。各学年のまとめとなる大切な時期です。個人面談でお話したそれぞれの成果や課題をふまえて、よいまとめができるよう支援してまいります。